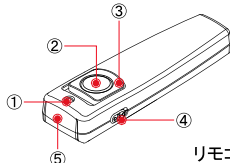


このたびは、デジタル一眼レフ用赤外線リモコン「ツインワンシリーズ」をお求めいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

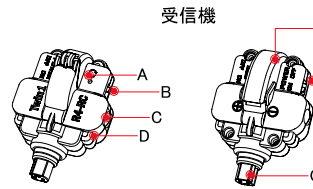
1、各部名称

※Twin1シリーズのリモコン部分は、全て同じ物です。



リモコン(送信機)

- ①作動ランプ/ミニライト
- ②シャッターボタン
- ③シャッターボタン(バルブ)
- ④時間差シャッタースイッチ
- ⑤赤外線送信部
- ⑥作動モードボタン
- ⑦リリースケーブル接続部
- ⑧キーホルダー取付部
- ⑨電池カバー



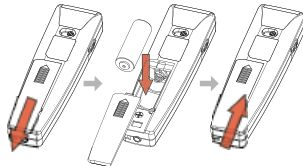
受信機

- A.シンクロ(同期)ボタン
- B.バルブ切替スイッチ
- C.赤外線受信部
- D.作動ランプ
- E.電池カバー
- F.電源スイッチ
- G.カメラ接続部

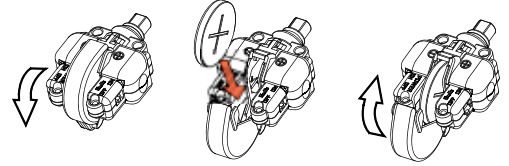
※カメラ接続部の形状は製品の種類により異なります

2、電池の装着

- 電池の+・-に注意して装着します(+が下・手前)。
- 電池カバーをはめます(電池カバーは他の付属品と一緒に小袋に入っています)。



- 電池カバーを右図の矢印方向に開きます。
- 電池のプラスとマイナスの向きに注意しながら、電池を入れます。
- 確実にカバーを閉じます。

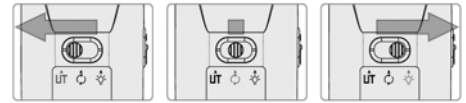


3、作動モードの選択

- リモコン裏面の作動モードボタンを確認します。
- 通常は中央の「UT」位置にします。
- 左側の「UT」位置は使用しません(受信機が使えないカメラにて使用)。
- 右側の位置にするとリモコンがミニライトになります。シャッターボタンを半押しにすると小さく光り、完全に押しと明るく光ります。またリモコン側面の「時間差シャッタースイッチ」を●の方へずらすと、ミニライトが点滅します。※ミニライトを多用すると、電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

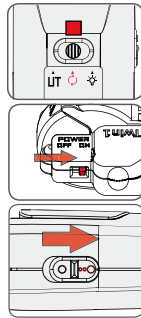
※受信機は、電源を入れてから5分以上カメラに接続せずに放置すると、自動的にシステムオフになります。カメラに接続するとオンになります。

受信機が使えないカメラにて使用



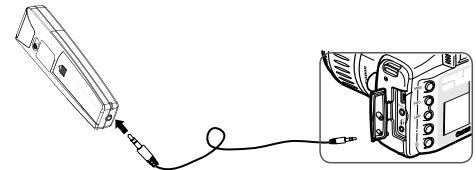
4、ワイヤレスシャッター(受信機連動)

- ケーブルが接続されている場合は外して下さい。
- リモコン裏面の作動モードボタンを中央の位置にします。
- 受信機をカメラのリリース端子に取付けます。
- カメラの電源および受信機の電源(ON)を入れます。
- リモコンのシャッターボタンを軽く押しと受信機の作動ランプが光り、AFの場合はカメラがフォーカスを合わせます。(シャッター半押し)
- リモコンのシャッターボタンを最後まで押しと、シャッターがきれます。
- ワイヤレス時にリモコン側面の「時間差シャッタースイッチ」を●の方へずらすと、約2秒遅れでシャッターをきる事ができます。



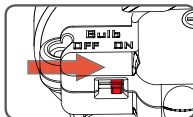
7、ケーブルシャッター

- リモコンを付属のリリースケーブルでカメラと接続します。カメラの接続端子については、お使いのカメラの取扱説明書を御覧下さい。
- シャッターボタンを半押しにするとオートフォーカスが動きます。
- シャッターボタンを完全に押し、撮影します。
 - ※ケーブル接続時はリモコンの電池は消費しません。
 - ※ケーブル接続時は時間差シャッターやミニライトは使えません。
 - ※カメラに接続端子が無い場合は、ケーブルシャッターは使えません。
 - ※付属ケーブルの端子は、商品の種類によって異なります。



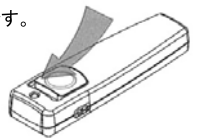
5、ワイヤレスシャッター時のバルブ撮影(長時間露光)および連続撮影

- 本製品はワイヤレス時のバルブ撮影(長時間露光)が可能です。
- 受信機の「バルブ切替スイッチ」を「ON」位置にすると、「バルブ・連続撮影モード」に切り替わります。
- カメラのシャッターモードを「B(バルブ)」にします。
- リモコンのシャッターボタンを1度押しと、カメラのシャッターが開きます(開き続け受信機の電池も消費します)。
- リモコンのシャッターボタンを再度押しとシャッターが閉じます。
 - ※シャッターが遅れて反応する場合は、「時間差シャッタースイッチ」を●にして下さい。
- 上記「3」で、カメラを「連続撮影」モードにしておくと、連続撮影をすることが可能です。
 - ※1度目のシャッターで連写が始まり、2度目のシャッターで連写が止まります。



8、ケーブルシャッター時のバルブ撮影(長時間露光)および連続撮影

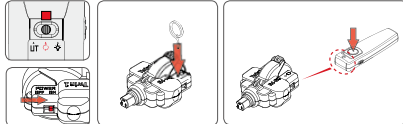
- ケーブルシャッター時にはバルブ撮影(長時間露光)が可能です。
- カメラのシャッターモードを「B(バルブ)」にします。
- シャッターボタンを完全に押し、そのまま押し続けると長時間露光になります。この時、シャッターボタンを前方へ押し上げロックすると、カメラのシャッターは開放のまま固定されます。シャッターを閉じるにはボタンを元へ戻します。
 - ※バルブ撮影をしない時は、必ずシャッターボタンを元の位置へ戻して下さい。
 - ※カメラとケーブル接続していない状態でシャッターボタンをロックすると、ワイヤレスの信号が出続けますので電池消費が非常に早くなります。
- 上記「2」で、カメラを「連続撮影」モードにしておくと、連続撮影をすることが可能です。



6、シンクロ(同期)について

本製品は他の同じ製品との混線を防ぐために、リモコン各々で信号が異なっており、初期のセットはあらかじめリモコン(送信機)と受信機がシンクロ(同期)しています。そのため、他のリモコンを予備などで使う場合は、使用前に受信機とシンクロさせる必要があります。

- ケーブルが接続されている場合は外して下さい。
- リモコン裏面の作動モードボタンを中央の位置にします。
- 受信機の電源を「ON」にします。
- 受信機の「シンクロ(同期)ボタン」を同梱のピンで約1秒間押し続けると、受信機の作動ランプが点滅します。
- このときリモコンを近づけシャッターボタンを押すと、リモコンと受信機がシンクロします。(シンクロが成功すると受信機の作動ランプが素早く点滅後、消えます)



◆ご使用上の注意(リモコン共通)

- ※Twin1シリーズは赤外線リモコンです。赤外線信号は障害物を貫通しませんので、受信機が完全に隠れている状態ではシャッターはきれません(まわりの物に反射して信号が回りこみ、シャッターがきれる場合があります)。
- ※ワイヤレス時の最大稼働距離は、太陽の光などに影響されます。快晴など天気が良い日は稼働距離が短くなります。早朝・夕暮れや建物内などの薄暗い場所では信号が届きやすくなります。
- ※リモコンや受信機の作動ランプが光らなくなった場合は、電池交換を試みて下さい。
- ※リモコンのシャッターボタンをロックしておくと、信号が出続け電池消費が早くなります。ロックはバルブ撮影(長時間露光)のためのものです。バルブ撮影をしない時は必ずシャッターボタンのロックを解除してください。
- ※Twin1シリーズは、韓国「セキュライン社」の商品です。
- ※不具合を感じたときは使用をやめ、右記連絡先までご相談ください。

9、主な仕様

リモコン(送信機)

ケーブル長さ	約1m	電池	23A型12V(LRV08)
サイズ・質量	縦25×横88×高さ17mm 26g(電池含む)		

受信機

ワイヤレス最大稼働距離	約100m(天候や周囲の状況により変化します)		
サイズ・質量	縦28×横48×高さ25mm	10g(電池含む)	電池 CR2032 3V



日本輸入総代理店: ベルボン株式会社
〒165-0027東京都中野区野方6-1-5 電話: 03-5327-6133

製造・開発元: 韓国セキュライン社
http://secu-line.com Tel:+82-2-850-3026 / Fax:+82-2-850-3027